



さらば海列車

どこかにあるという
海の上を走る
幻の列車

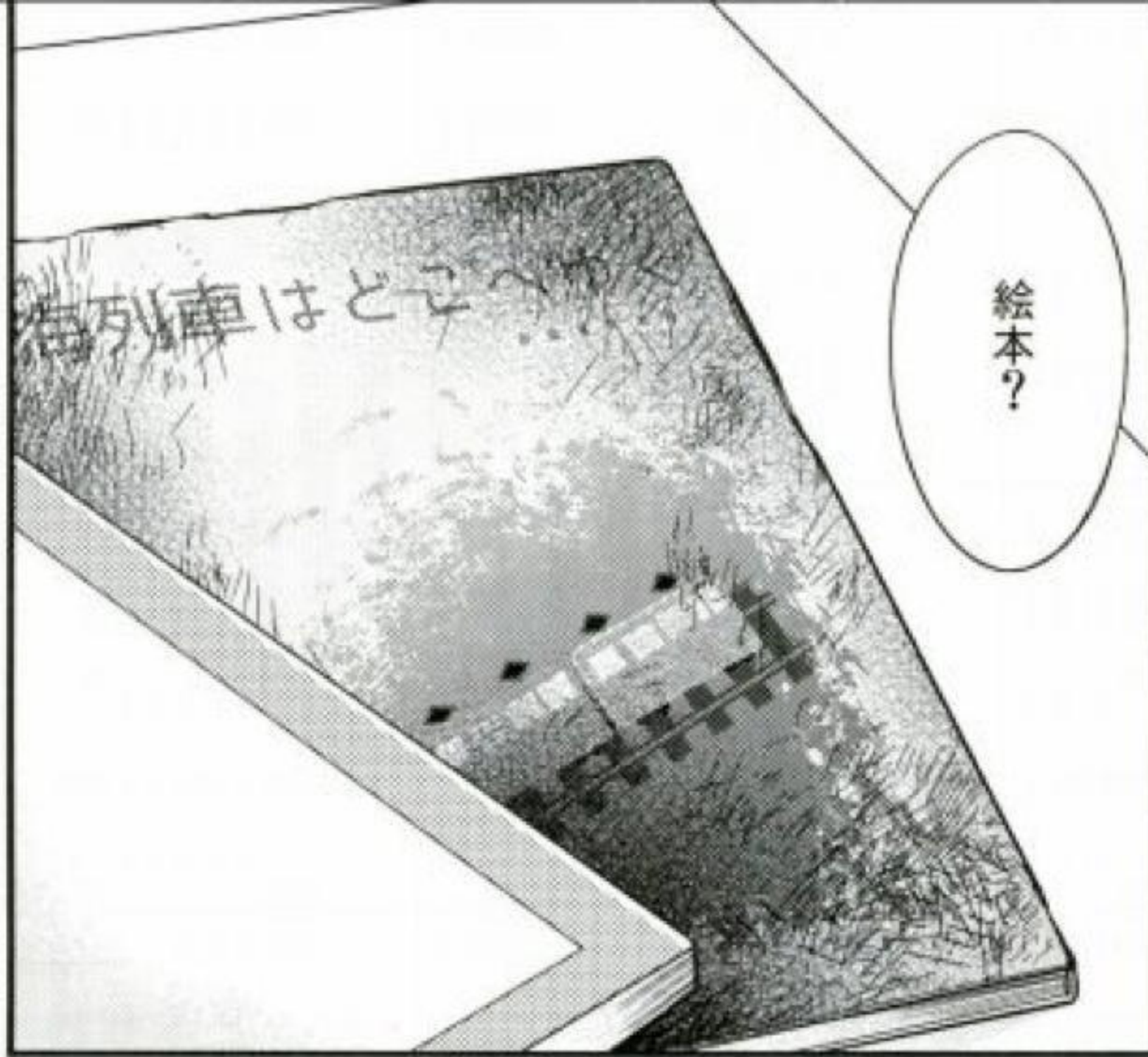
その列車に
出会えた人は
願う場所
どこへでも
連れて行ってくれる

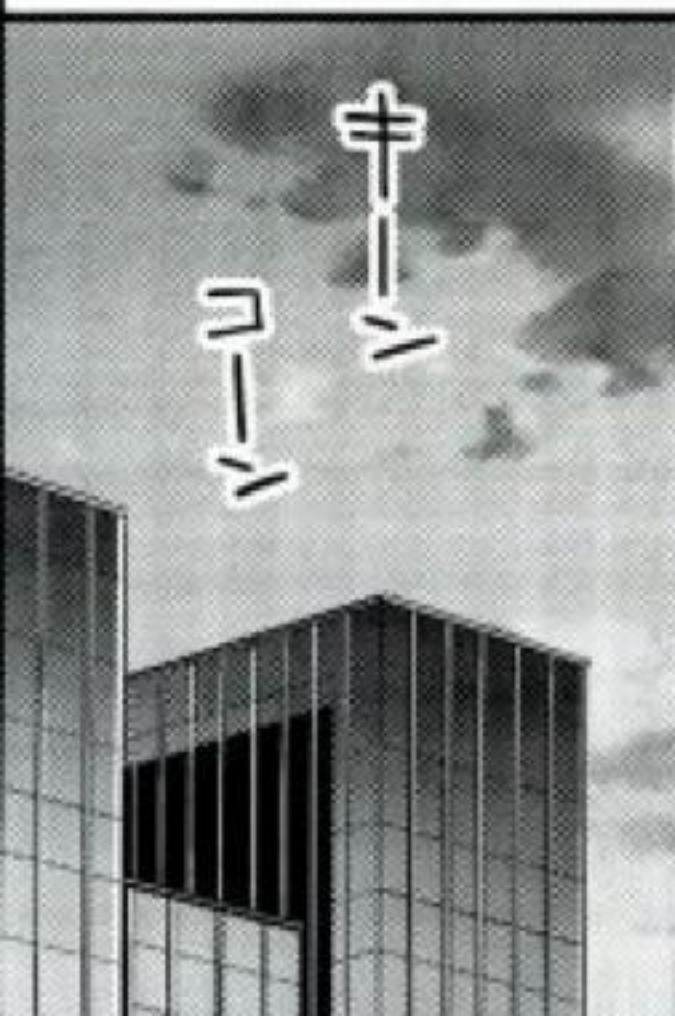
夢を叶える海列車
さあ 今日の目的地は――



デクくん
これ何？

え？





職員室

だからさ
返上は出来ねえよ

なかなか
しつこいね
お前も

爆豪

クソ…

っーかお前
爆破させたの
コレ…

(ひもだけ)ポロッ

でも全然
ぶっ壊れなかった

ポロッ

カ





オールマイイトは？

……
持ってるって



あんな勝ち方で
優勝したって
嬉しくねえ

じゃあ
どうすんだ
再戦させろって？
ガキみてえな
わがまま言うな

チツ…

舌打ちすんな



ホストッ

じゃあ
ちゃんと
持ってる



お前がそれを
与えられた意味

ちゃんと
考えるんだな



クワン…

!





ガタン

…なにか話したほうがいいかな…

ガタン

「優勝おめでとう」
……って怒るかな…

でも本当のことだ…



雄英体育祭で優勝した人だ!!

わー



……あの かっちゃん…

あー!!
おにいちゃん!!



ねーねーねー
そうだよねー!?

バクハツ
する人!!

きき
あの

わー!!

他の人
いるから
静かに…

わー
わー

すごいねー
おめでとうー
だねー!



「どこかにあるという
海の上を走る
幻の列車」

「この列車は
乗った人の
行きたい場所へ

願えばどこへでも
連れていってくれます」

「ある人は
大きな花が咲いた
海の底へ」

「ある人は
珍しい動物が
たくさんいる
無人島へ」

「この列車は
願うだけで
どこへでも
連れて行ってくれる

夢の列車
なのです」…





俺
この本
キライ







だって

こんな列車
どこにもないから

“ただ座ってるだけで
自分の行きたい
場所に行ける”

なんて

そんな
都合のいい話
あるわけないんだ



自分の足で
歩いていかなきゃ…



行きたい未来が
あるなら







……
10年ぶりだな

……
12年じゃない？

うっせ
細けーな

僕がやっと
わかったこと

かっちゃんは
昔からずっと
知ってたんだよね……

あ

キラッ

!?



あ~~~~っ
!!!

ボッシャー



はア!?
何やってんだ
オイ!!



待って...

ビャッ
ビャッ
ビャッ



チツ...



「みんな」は

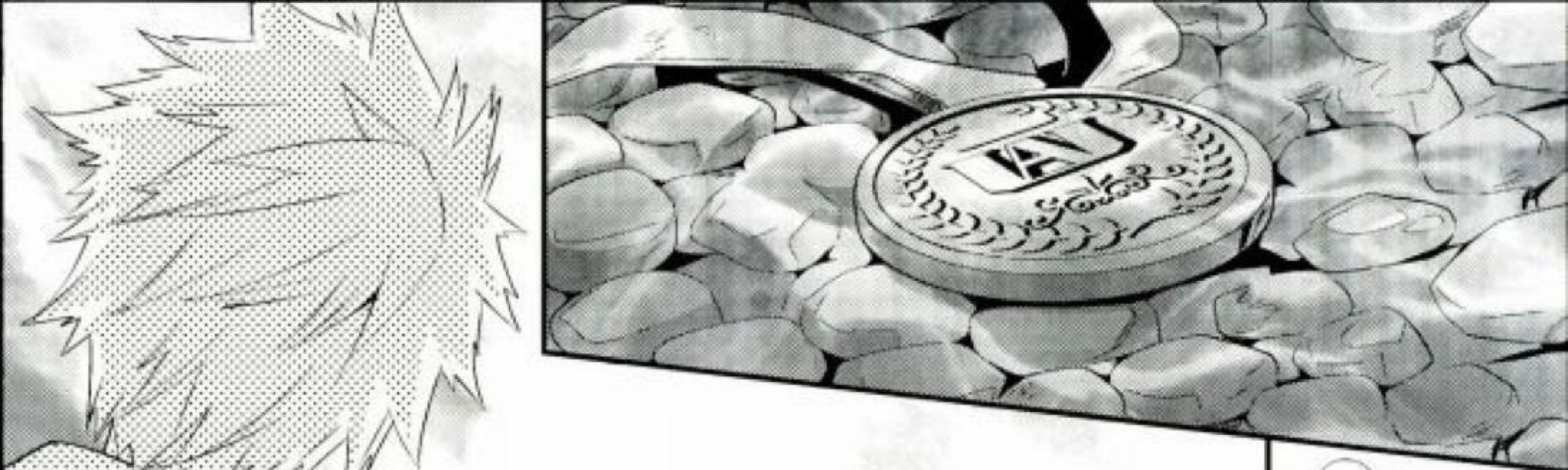
関係
ねーだろ!!

これは「俺」の
問題だ!

俺にとって
価値がなきや

それは
意味ねえんだよ!!





「僕」が

持ってたほじこ

.....じゃあ



かっちゃん

優勝に
納得して
ないんでしょ...

だったら



僕に見せてよ

かっちゃんか

本・当・に

トップになるところ!



自分の足で!



僕はその
かっちゃんを
追いかけて

いつか超えて
みせるから



それが僕の
行きたい場所
だから！



たぶん僕は

また
余計なお世話を
している



僕のわがままを
かっちゃんに
押し付けている



それまでちゃんと
僕の前に
立ってて
もらわなきゃ
困る！



…俺が

トップに
なったら…

だって

デク

……

か…



このときの
行動の意味も



かっちゃん
の
気持ちも



何も
わからないんだから



